

令和6年 ぶどう病害虫防除暦(大粒種基準)

富山県高岡農林振興センター

回数	月	時期	防除実施日	散布薬剤名	希釈倍率	薬剤の調合(水100%当り)	10a当散布量	収穫前日数	主な対象病害虫	注意事項
		休眠期(落葉後～発芽前)							晩腐病、黒とう病、つる割病 べと病、褐斑病、さび病 越冬害虫(ハダニ、アザミウマ等)	●病害虫防除は、薬剤散布のみに頼らず、左記に記す耕種的対策と組み合わせて、総合的に予防することが重要です。
1	4	上旬(発芽前)		デランフロアブル	200倍	500cc	200 ^{リットル}	休眠期	晩腐病、黒とう病、つる割病	●デランフロアブルは、発芽後の散布により葉に薬害を生じさせるので避ける。
2		中旬(発芽直前)		ベフラン液剤25	250倍	400cc	200 ^{リットル}	休眠期	晩腐病、黒とう病、褐斑病	
3		上旬(展葉期)		オーシャイン水和剤 アリエッティC水和剤	2,000倍 600倍	50g 166g	300 ^{リットル}	7日前まで 30日前まで	黒とう病、灰色かび病、うどんこ病 べと病、黒とう病、晩腐病	●コウモリガの発生が見られる場合は、主幹部に ガットサイドS を塗布(原液～1.5倍液)または散布(1.5倍液)する。
4	5	中旬		ジマンダイセン水和剤 スミチオン水和剤40	1,000倍 1,000倍	100g 100g	250 ^{リットル}	45日前まで 21日前まで	晩腐病、褐斑病、黒とう病、べと病 ブドウトラカミキリ、フタテンヒメヨコバイ、コガネムシ類成虫	●べと病の発生が多い場合は、4回目のジマンダイセン水和剤の替わりに リドミルゴールドMZ (1,000倍、収穫45日前まで)を散布する。
5		下旬(開花直前)		フロンサイドSC	2,000倍	50cc	300 ^{リットル}	開花直前～落弁期(但し収穫60日前まで)	晩腐病、黒とう病、灰色かび病、べと病、枝膨病	●灰色かび病の発生が多い場合は、 フルピカフロアブル (2,000～3,000倍、収穫30日前まで)を単剤で散布する。但し、抵抗性回避のためフルピカフロアブルの連用は避ける。
6		上旬(落花直後)		カンタスドライフロアブル パダンSG水溶剤	1,500倍 1,500倍	66g 66g	300 ^{リットル}	7日前まで 21日前まで	灰色かび病、すす点病 チャノキイロアザミウマ、フタテンヒメヨコバイ	●うどんこ病の発生が多い場合は、6回目の カンタスドライフロアブル の替わりに ストロビードライフロアブル (3,000倍、収穫14日前まで)を散布する。
7	6	中旬		オンリーワンフロアブル	2,000倍	50cc	300 ^{リットル}	前日まで	晩腐病、褐斑病、うどんこ病	
8		下旬(袋掛け前)		エトフィンフロアブル アドマイヤー顆粒水和剤	1,000倍 10,000倍	100cc 10g	300 ^{リットル}	7日前まで 21日前まで	べと病 アザミウマ類、フタテンヒメヨコバイ	●幼果期～袋掛け終了までは、果面汚染(果粉溶脱)防止のため、展着剤を加用しない。
9		上～中旬		ランマンフロアブル ディアナWDG	2,000倍 10,000倍	50cc 10g	300 ^{リットル}	14日前まで 前日まで	べと病 アザミウマ類	●バッファロー等の早生品種は、袋掛け前に散布しない。 ● ディアナWDG は、抵抗性回避のため年1回の散布とする。
10	7	袋かけ後		ICボルドー66D 又はコサイド3000(クレフノン加用)	50倍 2,000倍 100倍	2 ^{リットル} 50g 1kg	300 ^{リットル}	— —	べと病、さび病、黒とう病(ICボルドー66D) べと病、さび病(コサイド3000)	●袋掛け後(7月下旬以降)、アザミウマ類の被害がある場合は、 モスピラン顆粒水溶剤 (4,000倍、収穫14日前まで)または ダントツ水溶剤 (4,000倍、収穫前日まで、チャノキイロアザミウマ対象)を単剤で散布する。
11		上旬		ICボルドー66D 又はコサイド3000(クレフノン加用)	50倍 2,000倍 100倍	2 ^{リットル} 50g 1kg	300 ^{リットル}	— —	べと病、さび病、黒とう病(ICボルドー66D) べと病、さび病(コサイド3000)	
12	8	下旬		ICボルドー66D 又はコサイド3000(クレフノン加用)	50倍 2,000倍 100倍	2 ^{リットル} 50g 1kg	300 ^{リットル}	— —	べと病、さび病、黒とう病(ICボルドー66D) べと病、さび病(コサイド3000)	
13	9	収穫後		ICボルドー66D 又はコサイド3000(クレフノン加用)	50倍 2,000倍 100倍	2 ^{リットル} 50g 1kg	300 ^{リットル}	— —	べと病、さび病、黒とう病(ICボルドー66D) べと病、さび病(コサイド3000)	
14	10月下旬～11月上旬			ラビキラー乳剤	200倍	500cc	250 ^{リットル}	発芽前(休眠期)	ブドウトラカミキリ	

■殺菌剤

薬剤名	使用時期	使用回数
デランフロアブル	休眠期	1回
ベフラン液剤25	休眠期	1回
オーシャイン水和剤	収穫7日前まで	2回以内
アリエッティC水和剤	収穫30日前まで	3回以内
ジマンダイセン水和剤*注1	収穫45日前まで	2回以内
リドミルゴールドMZ*注1	収穫45日前まで	2回以内
フロンサイドSC	開花直前～落弁期(但し、収穫60日前まで)	1回
フルピカフロアブル	収穫30日前まで	2回以内
カンタスドライフロアブル	収穫7日前まで	3回以内
ストロビードライフロアブル	収穫14日前まで	3回以内
オンリーワンフロアブル	収穫前日まで	3回以内
エトフィンフロアブル	収穫7日前まで	4回以内
ランマンフロアブル	収穫14日前まで	3回以内

■殺菌剤の主な使用ガイドラインと薬剤例 ※耐性菌発生リスク低減のため

DMI剤	年総使用回数は原則2回以内、うち単剤使用は1回以内	オンリーワンフロアブル、オーシャイン水和剤(以上、単剤)
SDHI剤	年総使用回数は原則1回以内	カンタスドライフロアブル、アフエットフロアブル(以上、単剤)
Qol剤	年総使用回数は原則1回以内(本剤に対する耐性べと病菌が確認されており、べと病への防除効果は期待できないので注意する)	ストロビードライフロアブル、アミスター10フロアブル(以上、単剤)、ホライズンドライフロアブル(混合剤)
Qil剤	年総使用回数は原則1回以内	ランマンフロアブル、ライメイフロアブル(以上、単剤)
CAA剤	年総使用回数は2回以内、うち単剤使用は原則1回以内	レーバスフロアブル(単剤)、ベネセット水和剤*注1、ジャストフィットフロアブル、ベトファイター顆粒水和剤(以上、混合剤)

*注1: 成分にマンゼブを含む農薬。マンゼブの年総使用回数は2回以内

*注2: 成分にMEPを含む農薬。MEPの年総使用回数は4回以内(但し、収穫終了後から萌芽までは2回以内、萌芽後は2回以内)

薬剤名	使用時期	使用回数
ICボルドー66D	—	—
コサイド3000	—	—

■殺虫剤

薬剤名	使用時期	使用回数
スミチオン水和剤40	収穫21日前まで	2回以内*注2
ガットサイドS	幼虫嚙入期直前～嚙入初期(但し、収穫21日前まで)	2回以内*注2
パダンSG水溶剤	収穫21日前まで	5回以内
アドマイヤー顆粒水和剤	収穫21日前まで	2回以内
ディアナWDG	収穫前日まで	2回以内
モスピラン顆粒水溶剤	収穫14日前まで	3回以内
ダントツ水溶剤	収穫前日まで	3回以内
ラビキラー乳剤	発芽前(休眠期)	2回以内*注2

アンダーラインは令和5年度防除暦からの変更点

※散布にあたっては、農薬のドリフト(園外への飛散)の無いよう、十分留意して散布して下さい。

※農薬はラベルを熟読の上、その記載されている使用基準を守って適正に使用しましょう！！

※使用時期、使用回数等の使用基準は令和6年2月13日現在の登録内容です。常に最新の情報を確認して下さい。